

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2020-67591
(P2020-67591A)

(43) 公開日 令和2年4月30日(2020.4.30)

(51) Int. Cl.	F 1	テーマコード (参考)
GO 2 B 27/28 (2006.01)	GO 2 B 27/28	Z 2 H 1 9 9
GO 2 B 27/10 (2006.01)	GO 2 B 27/10	5 F 1 7 2
HO 1 S 3/30 (2006.01)	HO 1 S 3/30	A

審査請求 未請求 請求項の数 4 O L (全 10 頁)

(21) 出願番号	特願2018-200964 (P2018-200964)	(71) 出願人	504151365 大学共同利用機関法人 高エネルギー加速器研究機構 茨城県つくば市大穂 1 番地 1
(22) 出願日	平成30年10月25日 (2018.10.25)	(74) 代理人	100093816 弁理士 中川 邦雄
		(72) 発明者	アレクサンダー アリセフ 茨城県つくば市大穂 1 番地 1 大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構内
		(72) 発明者	浦川 順治 茨城県つくば市大穂 1 番地 1 大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構内
		F ターム (参考)	2H199 AB01 AB29 AB47 AB48 AB52 AB61 5F172 AG01 EE23 NN17 NN26 NN28 NR12 NR13

(54) 【発明の名称】 パルス列生成装置

(57) 【要約】

【課題】フェムト秒レーザーパルスを、任意の間隔で16分割するパルス列生成装置を提供する。

【解決手段】半波長板(1/2 plate)によってS偏光を45度回転した後に偏光ビームスプリッター(PBS)で反射・通過させるとフェムト秒レーザーパルスが二つに分かれる。通過したS偏光パルスはOptical delay line(移動ミラーの位置を変更することによる光路距離に差を設ける)によって200fsec程度(空間距離に変換すると60um)遅らせる。再度PBSを使ってP偏光パルスとS偏光パルスを合流させると、フェムト秒レーザー2パルス列が生成できる。これを4回繰り返して、フェムト秒レーザー16パルス列生成を行うことができる。その際、光学アライメントの調整が容易になるよう、レーザーをプリズム、位置制御可能な移動ミラーで構成するとよい。

【選択図】 図4

